

講 演 会

～つながりあそび・うた研修会～

2 年 生 運 営 委 員

平成26年1月23日、幼児教育研究会主催の講演会が行われました。

講師は、つながりあそび・うた研究所、研究主任の町田浩志さん。埼玉で私立保育園に10年間勤務し、10年目には同園の園長も務められました。現在は保育士研修会を中心に保育園・幼稚園・児童館・親子サークルなどの子どもたちと、そして、お母さん、お父さんに“つながりあそび・うた”を届けるために全国を巡業しておられます。

～はじめに～
♪ドレミのうた
♪おはようジャンケン
♪ゆらゆらブランコ
♪ともだちロケット
♪でんでんでんしゃ
♪せんたく
♪バトンタッチ
♪さよならだけじゃ
～おわりに～

最初のドレミのうたは、町田さんの弾くギターに合わせて歌を歌うだけでなく、みんなでドーナツやレモンなどのポーズを考え、歌に合わせて動きをつけながら楽しく歌いました。いつも一緒にいる友達だけではなく、学年やクラスが違う人ともかかわることができ、みんなとてもいい笑顔で歌ったり踊ったりしている様子が見られました。

つながりあそび・うたを楽しむ中で、保育者

として大切にしていきたいことも学ぶことができたと思います。まずは自分自身が楽しむことの大切さを町田さんの姿から学ぶことができました。また、人とふれあって活動することで、体だけではなく、心もふれあっていると感じることもできました。そして何よりも、今ある遊びに子どもたちを合わせるのではなく、目の前の子どもたちに遊びを合わせていこうという言葉が印象的でした。目の前の子どもたちの表情を見て心を通わせながら保育ができる先生になれたら素敵だなと思います。

時間は2時間でしたが、あっという間に過ぎ



ていきました。最後には、被災地の現状を話してくださり、私たちにできることや本当に今、日本がすべきことは何なのかを考える時間を持



つこともでき、とても有意義な講演会になりました。

